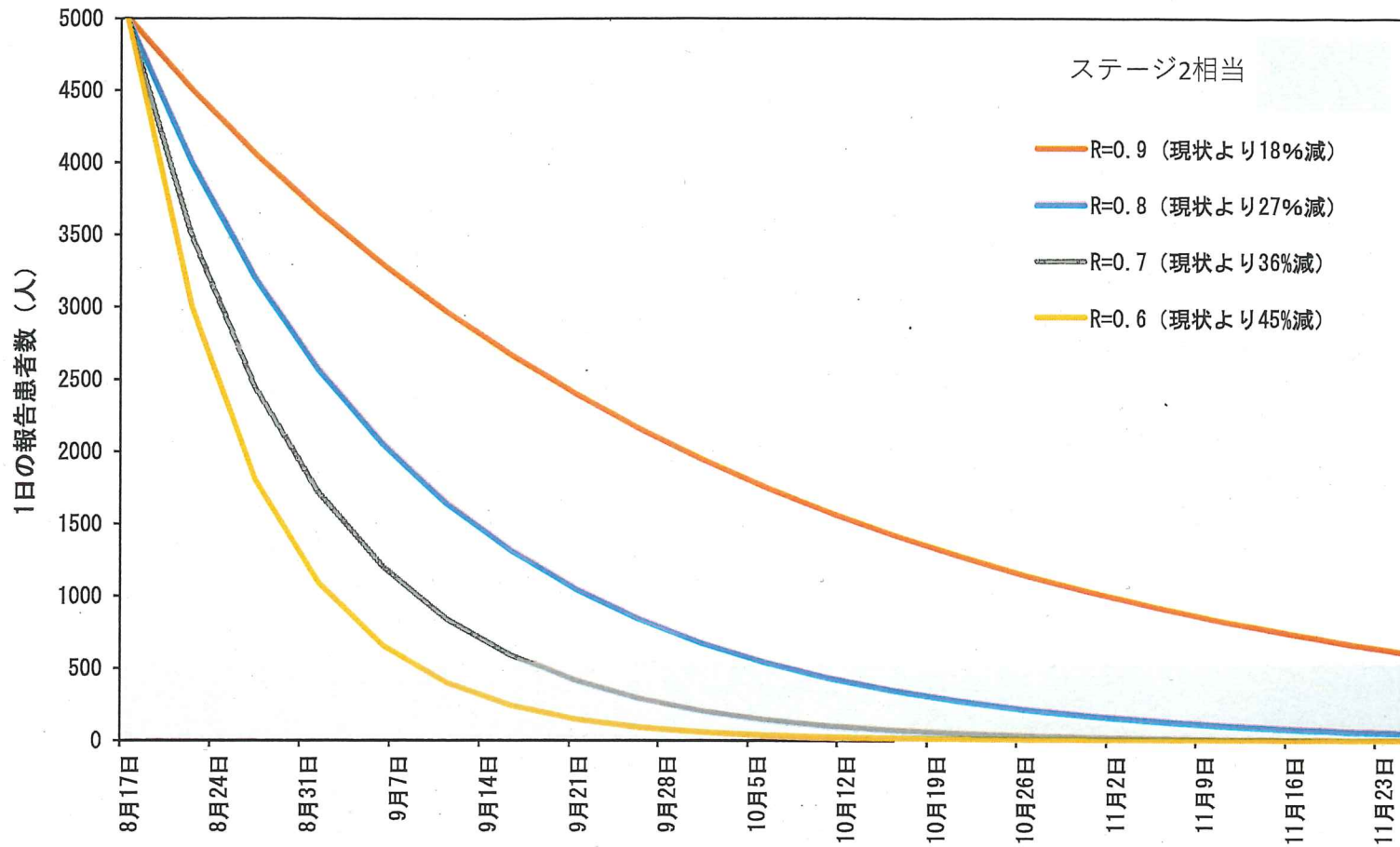


# 5つの指標

	医療提供体制などの負荷				監視体制	新規感染者数	
	医療のひっ迫具合			10万人あたりの療養者数	PCR陽性率	10万人あたりの新規報告数	感染経路不明割合
	入院者	入院率	重症者				
ステージ3の指標	20%以上	40%以下	20%以上	20人以上	5%以上	1週間で15人以上	50%以上
ステージ4の指標	50%以上	25%以下	50%以上	30人以上	10%以上	1週間で25人以上	
8月22日時点	① 病床利用率 (%)	② 入院率 (%)	③ 重症利用率 (%)	④ 療養者数 (人)	⑤ 陽性率 (%)	⑥ 新規報告数 (人)	⑦ 経路不明 (%)
北海道	40↑	16↓	10↓	93↑	10.8↑	68↑	43↓
宮城県	76↑		44↑	94↑	17.7↑	67↑	58
福島県	58↓	35↓	39↑	57↑	5.5↓	37↓	43↑
茨城県	75↑		33↓	88↑	16.0↑	75↑	42↑
栃木県	60↑	14↓	46↑	104↑	19.5↑	74↑	57↑
群馬県	78↑		34↑	130↑	20.3↑	99↑	52↑
埼玉県	73	4↓	91↑	391↑	16.9↑	163↑	53↑
千葉県	78↑	8↓	74↓	211↑	28.9↑	173↑	77↑
東京都	61↑	9	91↑	326↑	23.0↓	238↓	60↓
神奈川県	84↓	9↓	91↓	189↑	35.5↑	186↑	69↑
富山県	52↑		25↓	102↑		74↑	
石川県	48↓	27↓	21	68	5.7↑	44↓	40↓
山梨県	76↑		8	86↑	9.5↑	74↑	53↑
岐阜県	58↑		7↑	115↑	17.6↑	102↑	49.6↓
静岡県	63↑	8↓	42↑	133↑	14.3↑	101↑	35
愛知県	42↑		21↑	131↑	10.8↑	106↑	58↑
三重県	56↑	9↓	22↑	152↑	11.4↑	121↑	49.8↑
滋賀県	86↓		19↑	142↑	18.6↑	94↑	30↑
京都府	71↓	8	66↓	207↑	22.1↑	124↑	62
大阪府	70↑	11↓	41	233↑	13.0↑	169↑	67↑
兵庫県	65↑	13↓	42↑	118↑	25.0↑	117↑	57↓
岡山県	41↑		16↓	99↑	15.6↑	87↑	47↓
広島県	46↑		17↑	86↑	3.2↑	76↑	45
香川県	59↓	18↓	32↓	85↑	9.3	63↑	44↓
愛媛県	43↑		23	55↑	10.3↑	41	26↑
福岡県	64↑		15↑	189↑	15.8↓	141↑	62↑
熊本県	61↑	18↓	23↑	117↑	15.2↑	97↑	48
鹿児島県	77↓		10↑	116↑	14.1↓	93↑	41↑
沖縄県	93↑	11↑	93↓	466↑	16.2↓	314↓	58↓

8月23日更新

東京：仮にR<1に持ち込む施策ができたと仮定した場合の今後数か月の見通し



- ・ステージII相当まで、提示レベルの「維持」が1-3か月に渡って求められる
- ・強い対策で十分に感染源を達成することで2か月内で感染減が期待される

2021年8月25日 厚生労働委員会 立憲民主党・無所属 尾辻かな子

出典：厚生労働省 第48回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（令和3年8月18日）西浦先生提出資料より

2021.08.16

## 介護職のワクチン接種、在宅系で進まず 施設系と大きな格差 組合調査

新型コロナウイルスのワクチン接種をめぐり、介護職では在宅系サービスの担い手だけ置き去りにされている実態がある。改めてその問題を提起している。【鈴木啓純】

全国の約8万6000人の介護職で組織する労働組合「UAゼンセン日本介護クラフトユニオン（NCCU）」が10日、介護職のワクチン接種の進捗を調べた調査の結果を公表した。

それによると、全ての介護職が2回のワクチン接種を既に済ませている事業所の割合は、施設系で71.0%と高い水準に至っている。一方、施設に併設されている在宅系では37.0%、併設無しの在宅系では12.6%。非常に大きな格差が生じている現状が浮き彫りになっている。

ワクチン未接種の事業所（接種中など除く）の割合は、施設系が5.7%、施設併設の在宅系が16.1%、併設無しの在宅系が30.2%だった。

この調査は先月14日から今月2日にかけて実施されたもの。NCCUの組合員が働く4051事業所にFAXで調査票を送り、1003事業所から有効な回答を得たという。

NCCUは現下の感染状況と今回の調査結果を踏まえ、「今後は在宅のコロナ患者の増加が想定される。在宅系の介護職は、今まで以上に感染リスクの大きな不安を抱えながらサービスを提供しなければならない」と指摘。在宅系の介護職もワクチンの優先接種の対象として明確に位置付けるべき、と重ねて訴えている。

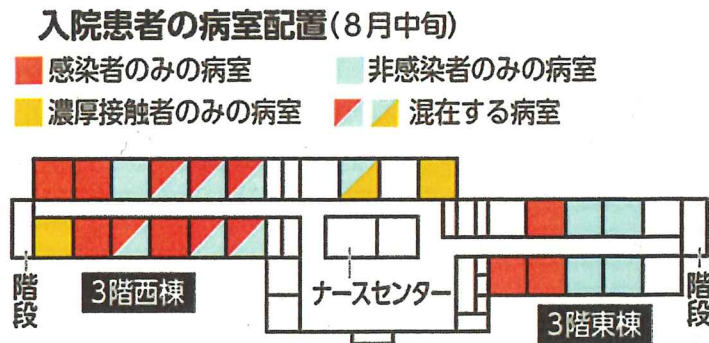
政府はもともと、介護職の優先接種の対象を施設系のみ限定する方針を掲げていた。その見直しを求める声を各方面から受け、今年3月に運用を弾力化。一定の条件を設けつつ、在宅系を含めるかどうかの判断を自治体の裁量に委ねた経緯がある。

2021年8月25日 厚生労働委員会 立憲民主党・無所属 尾辻かな子

出典：JOINT介護のニュースサイト

# なぜ？病院クラスターの死者が増えた事情 「ベッドも動かせず」 うるま

2021年8月18日 10:40



うるま市の民間医療機関で発生している新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）は、県によると17日までに確認された死者数が64人となった。7月19日に最初の感染者が確認されて約1カ月となるが、収束には至っていない。支援に携わった関係者が本紙取材に応じ、病院には個室がなく、クラスター発覚後も感染者と陰性の入院患者が同じ部屋に混在していたと証言した。常勤医も少なく、マンパワー不足でベッドすら動かせない状況もあったという。

「ここは老年精神科の病院で、内科の医者はいても感染症の専門家はいない。専門の病院に転院させてくれないかと県などに申し上げたが、どこも病床が逼迫（ひっぱく）して厳しい。苦肉の策で対応している」。16日夜、病院を運営する医療法人の会長は本紙取材に答えた。

同病院では今年1～2月にかけても計76人の感染者が出るクラスターが発生し、今回が2度目だった。

7月のクラスター発生時、入院患者は270人いて、医師や看護師ら職員179人が勤務していた。入院患者のうち感染が確認されたのは64%に当たる173人で、このうち64人が亡くなった。職員の感染者は26人で死者はいない。

感染が広がった要因に、病院の構造や人手不足が挙げられる。支援に携わる関係者によると、病院には個室がなく、どの部屋もほぼ満床だった。クラスター発覚後は、本来なら分けるべき感染者と陰性の入院患者が同じ部屋に混在していたという。「常勤医も少なく、マンパワー不足でベッドすら動かせない」（同関係者）という状況があった。

ワクチン接種は職員の85%が終えていたが、入院患者については他の医療機関から転院してきた人らを除けば、ほとんどが接種を受けていなかった。

7月のクラスター発生後、病院には厚生労働省のDMAT（災害派遣医療チーム）や外部から派遣された医師が応援に入り、入院患者を中頭病院などへ順次転院させた。しかし、近隣病院もコロナ対応で病床が逼迫し、転院できたのは一部にとどまった。

本紙取材に答えた会長は一連のクラスターについて、「ご迷惑をおかけして、亡くなった方にはお悔やみ申し上げます」と謝罪した。自身の責任に関しては「返す言葉はないが、全力投球でやっている。今月いっぱいである程度の収束はみられると思う」と述べた。

（當山幸都、当間詩朗）

2021年8月25日 厚生労働委員会 立憲民主党・無所属 尾辻かな子  
出典：琉球新報 DIGITAL 2021年8月18日 下線は尾辻かな子事務所による